

シンデルヤ あらすじ

鹿児島市で暮らす坂元朔太郎は、鹿児島県民にとってあまりにも身近な存在の桜島に対して最近、恐怖を感じていた。それは桜島噴火後の降灰によって幻覚を見る為であった。

幻覚の内容は居もしない妻と子供が現れて、そばで一緒に暮らししているというもので、もしかして自分の潜在意識下の願望が表面化しているのではと疑う。勤め先の医療品卸販売での業務は順調だが、先輩に出世や昇進にアドバイスをもらい身の振り方に悩んでいる。

そんな折、出会いを求めて始めたマッチングアプリで、感じの良さそうな女性から連絡がある。朔太郎は、ときおり出現する幻覚の家族との距離感をはかりつつ、仕事では組織の中で成長をしていく女性とはデートを重ねているが、その最中に幻覚に遭遇してしまい戸惑う。朔太郎は決心し、桜島へ向かって、その原因を解決しようとするのだった。